

おわりに

10年後の東峰村が、東峰村であること。そのために、どのような方針を定めるか。わかりやすく伝えることが出来るか。

「こどもが真ん中」「強い村」

これまでお伝えしてきた基本的な考え方です。

「こどもが真ん中」は、こどものためだけの政策を実施するという意味ではありません。18歳までの医療費無償化や保育料免除、学校給食費の実質無償化や特色ある教育など、こどもを育てる環境の充実を進めてまいりました。

しかし、村の将来を考えたとき、人口減少対策、移住定住施策の指標として、複式学級にならないこどもの数を保持するために、毎年子育て世代3世帯が移住する。そのための施策に取り組むことが必要です。

医療、買い物、交通。この3本柱に、しごと、住まいをあわせてすべての世代が暮らしやすい村を実現することが「こどもが真ん中」ということです。

「強い村」 強い村とは「強い財政」「強い行政」「強い地域」だと考えます。たとえば

「強い財政」 地域が一体となった取り組みによるふるさと納税額増加
(デジタル地域通貨を活用した焼物などの地場消費型返礼、米、新しい商品開発)

「強い行政」 公共施設の統廃合・集約化による行財政改革、人材育成

「強い地域」 自分たちで考え、実行するしくみづくり(地域コミュニティ協議会)
課題解決、地域振興、農村RMOなど、しくみは様々ありますが、
目標は地域に暮らす人が稼ぐ力を高め、笑顔で楽しく元気に生活できること

10年後の将来像が、ワーキング会議で示されました。その覚悟が、「私がやる！我ら村守」という概念です。

どんなに素晴らしい自然や歴史があっても、やはり最後は人がつながらないと地域の存続はできません。

行政だけではできません。もちろん住民の皆様だけでもできません。行政と地域が手を取り合って協働することで、一つ一つの力が足し算ではなくて掛け算の効果を生みます。

それぞれの立場で自分事としてとらえて、「私がやる！」の覚悟で前に進みましょう。

計画策定にあたりお力をいただいた皆様に心より御礼申し上げます。



令和7年6月
東峰村長 眞田 秀樹

第3次東峰村総合計画及び東峰村人口ビジョン
第3期東峰村まち・ひと・しごと創生総合戦略
(2025年度～2034年度)

令和7(2025)年6月 発行

監修・発行：東峰村役場 総務企画課

〒838-1792 福岡県朝倉郡東峰村大字宝珠山 6425 番地

TEL0946-72-2311 / FAX0946-72-2038

村ホームページ <https://vill.toho-info.com/>

調査・サポート：株式会社 よかネット

編集：有限会社 オフィス フィールドノート

イラスト・アートディレクション：株式会社 ドーンデザイン研究所

印刷・製本：株式会社 三門印刷所



東 峰 村



東峰村公認キャラクター
とほっぴ